

生体の科学 第49巻 総目次

1998年(第1号～第6号)

〔言語の脳科学〕

特集によせて一言語の脳科学への誘い

……………伊藤 正男	2(1)
言語の脳科学をめざして……………大津由紀雄	5(1)
言語の認知脳科学……………酒井 邦嘉	10(1)
脳損傷と失語症……………河内 十郎	23(1)
音楽の機能画像……………中田 力	32(1)
言語獲得の脳科学……………酒井 邦嘉	40(1)

〔血管—新しい観点から〕

血行力学による血管内皮遺伝子発現	
……………安藤 譲二・是永 理佐	78(2)
血管内で血液が凝固しない機構……………丸山 征郎	87(2)
血管内皮における張力刺激と細胞骨格	
……………杉本 啓治・武政 徹	
……………藤井 幸子・山下 和雄	93(2)
内皮細胞接着分子 PECAM-1 と流れ	
感知・情報伝達	
……………藤原 敬己・増田 道隆・大澤 正輝	99(2)
血管内皮細胞の新しい活性物質	
……………三井 洋司・鈴木 徹	103(2)
血管内皮・平滑筋細胞と弾性線維……………大山 俊郎	109(2)
血管平滑筋分化に関与する遺伝子……………森崎 隆幸	114(2)
平滑筋細胞形質決定因子—その細胞内	
情報伝達機構と遺伝子発現制御	
……………西田 亙・林 謙一郎・祖父江憲治	121(2)
新しい分化した血管平滑筋細胞株……………大見 和宏	131(2)
血管平滑筋細胞の分化とミオシン遺伝	
子の発現……………星野 洋一・永井 良三	137(2)

〔幹細胞研究の新展開〕

幹細胞概説……………帯刀 益夫	166(3)
マウス生殖系列細胞の発生機構	
……………松居 靖久・吉水 朋美	171(3)
テラトカルシノーマ幹細胞……………村松 喬	175(3)
造血幹細胞	
……………依馬 秀夫・高野 弥奈・中内 啓光	180(3)
結合組織幹細胞……………森井 英一・北村 幸彦	187(3)
骨・軟骨形成幹細胞	
……………大串 始・吉川 隆章・土肥 祥子	191(3)
中枢神経系幹細胞……………桜川 宣男	196(3)

表皮幹細胞……………飯塚 一・山本 明美	
……………高橋 英俊・本多 久夫	203(3)
胃腸粘膜上皮の幹細胞と細胞分化……………片岡 勝子	207(3)
精祖細胞……………永野 俊雄	213(3)
多分化能を有する細胞株……………小島 至	217(3)
多分化能の維持に働く分子機構……………丹羽 仁史	221(3)

〔プロテインキナーゼCの多様な機能〕

特集に寄せて……………編集委員会	246(4)
シグナル伝達における PKC と PLD	
……………大口 健司・野澤 義則	248(4)
NO 生成と PKC の役割	
……………西尾 栄助・渡邊 康裕	253(4)
神経伝達物質の放出と PKC	
……………村山 俊彦・野村 靖幸	257(4)
細胞分泌刺激と PKC ………………藁科 彬	261(4)
発達期の神経系に発現する PKC の亜	
分子……………三木 明德	264(4)
骨芽細胞における PKC	
……………小澤 修・徳田 治彦	269(4)
学習と PKC ………………坂口 博信	274(4)
記憶と PKC ………………山本 隆・八十島安伸	278(4)
虚血による心筋内 PKC アイソフォー	
ムの転移と病態生理学的意義……………吉田 謙一	281(4)
脳虚血と PKC ………………西澤 茂	287(4)
PKC に結合する薬剤 ………………柴崎 正勝・魚津公一郎	290(4)

〔神経系に作用する薬物マニュアル 1998〕

I. 受容体に作用する薬物	
1. イオントロピック受容体(チャネル)	
(1) 陽イオンチャネル内蔵型	
AMPA 受容体・カイニン酸受容体 ………………坪川 宏	322(5)
ATP 受容体 ………………井上 和秀	326(5)
NMDA 受容体	
……………倉本 展行・荻田喜代一・米田 幸雄	329(5)
アデノシン受容体……………黒田洋一郎	333(5)
グルタミン酸受容体……………渡辺 繁紀	338(5)
セロトニン受容体……………吉岡 充弘	342(5)
ニコチン受容体	
……………村松 郁延・朱 軍・谷口 隆信	343(5)
(2) 陰イオンチャネル内蔵型	
GABA _A 受容体 ………………赤池 紀扶	346(5)

骨格形成に関与するホメオドメインタンパク-ZFH ファミリータンパク
 δEF1 のノックアウトマウスの解析
 から

東 雄二郎 594(6)

〔連載講座一個体の生と死〕

6. 初期発生：卵割から胚葉形成まで
大谷 浩 54(1)
7. 初期発生：体軸形成と胚葉の分化
森本 武志・塩田 浩平 145(2)
8. 初期発生：中胚葉形成
榎木 英介・浅島 誠 227(3)
9. 胎盤と胎膜の発生.....谷村 孝・木原 隆英 296(4)

〔実験講座〕

- GFP を用いたタンパク質の細胞内輸
 送の解析.....矢野 正人・森 正敬 61(1)
- 血管壁の力学特性とその無侵襲診断法
横堀 壽光 152(2)
- RNA の核外輸送の研究法
松岡 洋祐・米田 悦啓 304(4)
- アンチセンス医薬品開発の現状.....村上 章 309(4)
- ツーフォトンマイクロスコーピーの原理
 と実際.....久場 健司 602(6)

〔解 説〕

- 筋ジストロフィーに対する遺伝子治療
 の基礎的研究—アデノウイルスベク
 ターを用いた骨格筋に対する遺伝子
 導入の有用性.....武田 伸一 68(1)
- 管の発生のメカニズム.....八杉 貞雄 233(3)
- ショウジョウバエ幼虫筋肉の発生にお
 けるファウンダー細胞の役割とロイ
 シンリッチリピートタンパク質
穴戸恵美子・能瀬 聡直 612(6)

〔話 題〕

- 「花房照子博士追悼シンポジウム」印象
 記—癌遺伝子 Src の興亡松田 道行 75(1)
- 米国骨代謝学会印象記.....中村 美砂 157(2)
- ゴードンカンファレンス(老化の生物
 学)に参加して石井 直明 158(2)
- 米国人類遺伝学会大会印象記.....剣持 直哉 159(2)
- 国際自律神経科学会第1回会議見聞録
西村 俊彦 161(2)
- 国際シンポジウム「筋肉における仕事
 発生および仕事吸収機構」.....杉 晴夫 240(3)